

# ガクブチの無い世界

作 中山 信之

## 【登場人物】

広瀬 聡太	ひろせ そうた	男	ひろたけ便利店店主。 過去絵描きを志していた
竹村 友樹	たけむら ゆうき	男	ひろたけ便利店。共同経営者。広瀬の幼なじみ。 趣味で演劇をやっている
並木 美弥	なみき みや	女	ひろたけ便利店 常勤アルバイト 演出兼役者、ダークマスター
城島 貴志	じょうしま たかし	男	大きな芸術系新興会社の重役。 ひろたけ便利店の客
永井 ほのか	ながい ほのか	女	ギャラリー「ユジンドール」オーナー。
早田 美紀	そうだ みき	女	絵描き、中途失聴者
早田 由佳	そうだ ゆか	女	早田妹。本職はウェブデザイン
古郡 大地	ふるごおり だいち	男	劇団プレゼント 役者。
小池 里美	こいけ さとみ	女	役者、学生。時空探偵
水谷 世羅	みずたに せら	女	劇団に入ったばかりの役者。
佐伯 響子	さえき きょうこ	女	大家さん

朝。ひろたけ便利店の事務所。散らかっている。古郡、竹村、並木、水谷がいる。シリアスな雰囲気。スモークがたかれ、荘厳な音楽。並木が空の瓶を持ち、飲もうとしているのを2人が引き留めている。舞台奥では広瀬がパソコンに向かってている。

2023/06/12

古郡　　待つんだ！ ジェニファー！ 本当にそれで良いのか。  
竹村　　そうだ！ 何も君が犠牲にならなくても。  
並木　　いいえ……私がこの薬を飲むことで、彼が助かるなら……。

並木、振り向いて。

並木　　あの人がいない世界なんて何の意味も無いのよ。  
水谷　　本当にいいの？  
古郡　　それを飲んだら、もう帰ってこられないんだぞ。  
並木　　ええ。  
竹村　　くそっ！ やっぱ俺が代わりに。  
水谷　　あなたが行ったら誰がコントロールルームに入るのよ。  
竹村　　それは……。

間。送り出す3人は泣き出す。

並木　　ありがとう。  
竹村　　この時代の地球は俺たちに任せる！  
古郡　　俺は、俺はお前の事を忘れない。  
水谷　　私も！ もう泣き虫のリズなんて呼ばせない。

並木、3人を見渡しほほえんで。  
並木　　さようなら。  
古郡　　頼んだぞ！  
竹村・水谷　　ジェニファー！

並木、頷いて瓶を傾けようとしたところにヨロヨロとベレー帽を被った小池入ってくる。

小池　　そこまでだよ！  
古郡　　ケイト！  
水谷　　ひどい怪我！

竹村

大丈夫か？

小池

ぴーちく騒ぐんじゃないよ。

小池、並木に向き合って。

小池

たいしたからくりを考えたもんだね。ジェニファー。

並木

え？

小池

そのボンクラどもは騙せても、この時空探偵ケイトは全てお見通しさ！

竹村

どういう事だ、ケイト。

古郡

アルファポジトロンも効かない、このアジトだって包囲されている。

水谷

最後の望みだった次元転移だってもう……。

小池

だからあんた達はいつまでもヒヨッコだってんだよ。地球に帰ってママのおっぱ

いでもしやぶつてな！

水谷

ま、まさか……。

小池

あのワープ航法そのものがジェニファーのウソだったとしたら？

3人顔を見合わせて。

並木

ふふ。うふふふ。はーっはっはっは。バレちゃあしかたないわね。

小池

ふん、ついに正体を現したね。ダークマスター！

並木、ちやちい剣を抜く。竹村、古郡、小池、水谷で対峙する。

並木

さすがですわ、時空探偵さん。褒めて差し上げます。でも残念だったわね。もう手遅

れなのよ。次元の狭間は今まさに閉じようとしているの。

小池

なに？

並木、剣を一振りすると4人がいつぺんに倒れる。

並木

うふふ。さようなら、まぬけな探偵さん。

並木、ハケる。

小池

ケビン、ジョージ！

古郡

お…おう。

竹村

ああ。

小池ヨロヨロと立ち上がりながら水谷に手を貸す。

小池 リズは？ 生きてる？

水谷 どうやらね。

小池 例え銀河の塵となろうとも。

小池、竹村達にも順番に手を貸す。

竹村 俺たちは！

水谷 諦めない！

古郡 優しい世界を目指す！

音楽高まる。4人、舞台袖を決死のまなざしで睨み付ける。

4人 例え銀河の塵になろうとも、俺たち（私たち）は諦めない。

小池 行くぞ！ 腰抜けども！

4人 優しい世界の為に！

4人が走り出すと佐伯が入ってくる。音楽止まり、現実に戻る。

佐伯 はいはい、お邪魔しますよ。

広瀬 あ、ども。

佐伯 （咳き込んで）どもじゃないですよ。何ですか、この煙は！

佐伯、竹村を睨む。古郡、小池、並木、水谷の4人は一礼してバツが悪そうに片付けを始める。

佐伯 優しい世界？ ふーん。せめてこのビルの賃貸契約を守る位はあたしにも優しくして

欲しいものですね。（咳き込む）

あ、いえ。その、

ですよー。

地域に根ざした便利屋さんだって言うから貸してるのに、お家賃は滞るし、よくわからない劇？ だかなんだか勝手に始めちゃって。

あ、はあ……。

佐伯 困るんですよ。部屋の中で花火したり大騒ぎしたり。

並木 いやこの煙は、花火じゃなくて、スモークマシンって言ってですね、

佐伯 何？

並木 いえ。なんでもないです。

佐伯 給水塔の修繕費と、それだけじゃなくて。

広瀬

はい。

佐伯

少しでも入れてくれませんかねえ？

広瀬

はい。来月には。

佐伯

先月もそう聞いた気がしますが。

竹村

来月は必ず。

佐伯

(ため息) そうですね……お家賃も、先月分まだなんですからね。

広瀬

すみません。併せて必ず。

佐伯

頼みましたよ！

佐伯、去りかけて。

佐伯

あと、今後また他の部屋から苦情が来るようでしたら「優しい」私も、堪忍袋の緒が切れますからね。

広瀬・竹村

わかりました。

佐伯、古郡達を一瞥して出て行く。皆少し心配になり、集まってくる。

水谷

大家さん？

竹村

うん。

水谷

若い。

竹村

元々は婆さんだったんだ。彼女はお孫さん。

小池

修繕費って。こないだウチらが屋上で大道具作ってる時に、

広瀬

平気平気。気にしないで。

並木

でも……。

広瀬

大丈夫だから。な、そんなことより、明日の支度しちやおうや。

竹村

そうだな。

3人同時に返事。

小池

はい。

並木

はい。

水谷

わかりました。

小池、水谷は資材の入ったケースを整理する。並木、古郡の方に寄って行く。

並木

ふる。

古郡

え？

並木 ホントに気にしないで良いの？

古郡 何を？

並木 修理代に決まってるでしょ。

小池、水谷も寄ってくる。

古郡 ああ、うーん……。そりや気にするべきだよなあ。俺たち食えない役者どもに良い時給でバイトさせてくれてるのに、こうやって迷惑かけてんだから。

並木 稽古場としても使わせてもらってるし。

水谷 ぶつけたんです？

並木 あれ？ 世羅、劇団入ったのいつだったけ？

水谷 3月からです。

古郡 あ、そっか、お前あの日休んでたんだ。

並木 メーターみたいなやつ？壊しちゃって、ビル全体の上下水全部止まっちゃったのよ。

水谷 わあ……。

小池 どっちにしろ私たちにどうこうできるアレじゃないでしょ。

並木 え？ 里美、知ってるの？

古郡 どれくらい？

小池 金額？ちゃんと聞いたわけじゃないけど。

小池、3人に耳打ちして。

並木 えー！？

古郡 馬鹿、声デカいよ。

並木 だって、

広瀬 何こそそ話してんだ？

小池 いえ、何でも。

竹村 さっさと支度済ませちゃえよ。

4人 はーい。

並木、小池、古郡、水谷作業を再開。暗転。

オープニングアクト

同日。ひろたけ便利店の事務所。広瀬、竹村、並木、古郡、小池、水谷がいる。竹村が仕事の指示をしている。

竹村 集合は八時半にここで。俺とふるが運転ね。結構広いお宅で、時間かかるよ。日焼けしない格好してきてな。

劇団員4人 はい。

竹村 晩飯食ってから稽古に入るから。どこやるんだっけ？

並木 稽古予定送ってるじゃないですか。シーン7から最後まで、道具持って何回か返します。

竹村 あ、すまん。了解。

並木 世羅も大丈夫？ セリフ入った？

水谷 何とか。

竹村 初舞台か、頑張れよ。(広瀬に) 来週は予定無し？

広瀬 えーっと、あ、火曜に中畑さんとこの倉庫整理お願いできる？ 一応タケとみゃーでもいけそうなんだけど、後1人行けない？ 多分5時には戻れると思う。

小池 火曜は学校あるんで。

古郡 僕、行けますよ。

水谷 私も大丈夫です。

広瀬 助かる。えーっと、じゃあふるお願い。他は俺とタケで回せるかな。

竹村 そっちは現地集合で良いの？

電話がかかってくる。

広瀬 みゃー、電話お願い。うん。現地に10時。

並木 はい、お困りごと、お悩みごとなんでも引き受けます。ひろたけ便利店です。

竹村 じゃ、そういうことで、今日はちよっと早いけど、片づけと掃除しておしまい。

古郡・小池 はい。

水谷 わかりました。

皆、散り散りに。少し雑談。

並木 では確認して折り返しますね。

並木、電話を切る。

広瀬 誰？

並木 境町さかいまちの藤田さん。また、楽器の運び出しお願いって。

永井入ってくる。身なりが良い。古郡が気づく。

永井 失礼します。

古郡 あ、どうも。(お辞儀をしてから奥に向かって) ヒロさん。お客さんです。

広瀬が応対に出る。

竹村 ふる、お客「様」だろ。

古郡 あ、すみません。

城島入ってくる。

城島 まあまあ、それ位で。

広瀬 ああ、城島さん、お久しぶりです。

城島 こちら永井君だ。

永井 ユジンダールの永井と申します。

城島 元々は私の部下だったんだが、やり手でね。今は独立してデザイン事務所とアートギャラリーを経営している。

永井 やめてくださいよ。ピックアップにいた頃から城島さんにお世話になりっぱなしです。

古郡 え？

広瀬 広瀬です。

竹村 竹村です。

城島 あちらは並木さん。

並木 初めまして。並木 美弥です。

今日は随分と賑やかだね。

広瀬 タケのこの劇団員に手伝いに来てもらってます。

竹村 古郡に小池、最近入った水谷です。

3人 こんにちは。

古郡 古郡 大地です。

小池 小池 里美です。

水谷 水谷 世羅です。

永井 劇団員？

城島 竹村さんは地元、横浜で劇団やってるんだ。演劇。「劇団プレゼント」って言ったっけ？

永井　へえ、すごいですね。

竹村　お恥ずかしい。素人の趣味ですよ。まあみんな金欠なんで。人手が要る仕事の時には劇団員にバイト、頼んでるんです。

並木　WinWinってやつです。

永井　あ。

竹村　どうしました？

永井　すみません。だから皆さんフルネームでご紹介いただいたのかと思ひまして。

竹村、古郡、並木、小池、水谷笑う。

並木　劇団に見学者さんがくると自己紹介するんですけど、いつもこんな感じで。

古郡　こんな感じじゃないでしょ。

小池　主に要らない情報ばかり紹介してる。

竹村　確かに。

古郡　あの、ピックアップさんって、TVでCMとかしてるあの？

城島　ありがとうございます。

小池　わ、すごい。日本のアートはここからの。

水谷　芸大生、美大生の就職先人気ナンバーワン、の。

広瀬　おいおい、失礼だろ。

城島　いやいや、覚えていただいてありがたい限りですよ。

広瀬　すみません。

城島　さて、仕事の話をしても良いかな。

広瀬、竹村が話を聞き、他は掃除に戻る。

広瀬　ありがとうございます。で、どんなご依頼でしょうか？

城島　私が去年だったか、ひろたけさんにお世話になった話をしたら、

広瀬　ああ。

城島　永井君に紹介して欲しいと頼まれてね。

広瀬　その節はお世話になりました。

城島　いやいやこちらこそ助かったよ。で、今回は尋ね人の搜索というか、サクラをして

城島　欲しいんだ。

広瀬　えっと……？

永井　似顔絵を描いている人物を探してくれませんか？

竹村　はあ、似顔絵ですか。

永井　ウェブサイトがあるような店舗は一通り探したのですが、

城島　たまに見かけるだろ、駅前在路上とかで似顔絵描く人。

広瀬

ああ。

永井

そういう方々はなかなか網羅的に調べることができないのです。

広瀬

エリアは？

永井、タブレットか何かを取り出し、指し示しながら。

永井

まず、この辺りで。見つからない場合には検索範囲を広げてください。

城島

どうだろう？

並木、話に入ってきて。

並木

でも、そういう人って、週末だけとか、何曜日だけとか。時間だって一日中いるわけじゃないですよ。

竹村

こりや骨が折れそうだ。

並木

ネットとか広告みたいなものとかで呼びかけたら？

永井

それは困ります。あくまでも秘密でお願いしたいのです。

広瀬

このご依頼自体も？

永井

もちろんです。

広瀬

わかりました。しかし、どの似顔絵師でも良いって訳じゃないですよ。これだけの範囲を探すとすると鉄道駅だけでも数十あります。曜日や時間帯毎に……。随分時間と費用がかかりますよ。

永井

人海戦術には相応のコストが必要だと認識しています。

竹村

さすが。話が早い。その人の写真とかは？

永井

ありません。客として似顔絵を描いてもらうだけで結構です。

竹村

絵を見たらわかると。

並木

それでサクラなんですわね。

城島

広瀬君なら同じ人が描いた絵かどうかわかるだろ。水彩、随分やっていたんだろう。

広瀬

まあ、もしかしたら……。

竹村

期限は？

永井

できれば2週間で。

竹村、並木を見る。

並木

うーん……。2週間ですか。情報が少なくって、

永井、タブレットを示す。

永井　これが、その方が以前描いた似顔絵です。  
うわ。上手い。

広瀬　確かに素晴らしい。

並木　でも、これじゃ手がかりには……。結局描いてもらうしかないってことですもんね。  
では、1か月ではいかがでしょうか？　成功報酬としてこれだけ。

広瀬　（金額を見て）わかりました。全力を尽くします。

竹村　が、お約束はできません。城島さん、こういうのは探偵にも頼んだ方が良いんじゃないかと思うんですが。

城島　申し訳ないが、この話はあまり広めたくないんだ。だからこそ信頼の置けるひろたけさんに依頼に来たつもりだけどね。

竹村　そうですか……。どうしてそんなにお急ぎなのですか？

城島　実は、秋にウチで新しい公募展を予定していてね。

並木　あ、知ってます。SNSでも良く広告見ますよ。主催はピックアップさんで、6チャンネルだったかな。テレビ局とかデザイン系の専門学校も推してるイベントみたいで、大々的にやるんですよ。最優秀賞は賞金1千万！とか。

永井　そこにその人の作品を出したいんです。

竹村　なるほど……。

並木　え？　出来レースってことです？

竹村　みゃー。

並木　だって、主催者が気に入った作品をエントリーするんですよ。

城島　いや、これは決して出来レースとか八百長の類いではないよ。現に、私はその作家も作品も知らないんだ。

永井　あくまでも私のワガママで、優れた作品を世に出したいだけなんです。

城島　しかし、並木さんがおっしゃる通り、世間は誤解するだろうからね。

並木　だから秘密でってことなんですね。

広瀬　いつから始めましょうか。

永井　早速ですが今日から検索をお願いしますか？

竹村・並木　え？　今日？

広瀬　ちよっと待って下さい。

広瀬、スケジュールを確認する。

竹村　随分ご熱心ですね。

城島　そうかな。そうかもしれないな。彼女も私もただ……。応援したいんだろう。

広瀬　お待たせしました。とりあえず今日はサト、世羅。

小池　はい！

広瀬　話聞いてたと思うけど、大丈夫？

小池　　はい。行けます。

広瀬　　ありがとうございます。じゃ、タケと行って。

竹村　　ちよつと待て、今日は俺まだみゃーと2人で2丁目の福井さんところ、

広瀬　　そっちは世羅が行ってくれないかな。

水谷　　え？あ、わかりました。まあ、みゃーさんのお手伝いなら。

広瀬　　お願い。

並木　　了解です。

永井　　急な話ですみません。どうしても見つけ出したいんです。

広瀬　　いえ、問題ありません。城島さん、永井さん、後こちらで。

城島　　ああ。

城島、永井、広瀬と奥へ。竹村、古郡、並木、小池、水谷が残る。

古郡　　大丈夫かな？随分大変そうだけど。

小池　　ね。

並木　　歩き回るようになるのかあー。

水谷　　けどヒロさん、乗り気でしたね。

竹村　　給水塔もタダじゃねえんだよ。

4人　　だよなあ（だよねえ）（ですよねえ）

暗転。

前明かりかスポットライト。舞台後方では場面転換。  
後日。夜。広瀬と竹村が電話している。仕事に一区切り付けたところ。

竹村

じゃあ、もう遅いし、このまま帰るから。

広瀬

お疲れ。今日も手がかり無しか。長期戦だなあ。

竹村

……。

広瀬

明日からはサトも入るし、世羅とふるにも別行動してもらおう。明後日からは

タケと俺、留守番交替な。

竹村

……すまん。

広瀬

何だよ。

竹村

金、修理代。

広瀬

しつこいよ。俺が屋上でやれって言ったんだぜ。

竹村

そうなんだけどさ。

広瀬

簡単な話だ、似顔絵屋が見つかりや全部返せるって。

竹村

ぜってえ見つけ出す。

広瀬

その意気。

並木、広瀬がいるスポットライトに入ってくる。

並木

ひゅータケさんカッコイイ！

広瀬

おい、みゃー！

竹村

あ、お前いたのかよ。

並木

いるに決まってるでしょ。月末だし。

竹村

人の電話、聞いてんじゃねえよ。

並木

声大きすぎて聞こえちゃうんだって。

竹村

ふん。じゃまた明日。

広瀬

あいよ。

間

並木

劇団のみんなも超張り切ってますよ。ヒロさんに恩返しするんだって。

広瀬

そっか。ありがとな。

並木

恩返しっていうより借金返すみたいな話ですけどね。

広瀬

まだそんなこと言ってるのか。

並木

ヒロさんが一生懸命だから。

広瀬

そうか？

並木

うん。

広瀬

俺は応援したいだけだよ。

並木

城島さんと同じこと言ってる。

広瀬

(笑って) まだまだ絵描きや芝居人じんには生きづらい世界だからな。

どこかの駅。小池がいる。時計を見ながらスマホを操作している。

小池

坂下駅西口12時02分確認できず。

別の駅。古郡がいる。ノートにメモしている。

古郡

山上駅東口15時48分ターゲット確認できず。ふう……。

どこかの駅。水谷がいる。スマホを操作している。

水谷

白石駅17時11分確認できず。

別の駅。竹村、並木がいる。

並木

ごちそうさまでした。

竹村

ああ。

並木

こうやって探すと似顔絵屋さんなんていないもんですね。たまに見かけるような気がしてたんですけどね。

竹村

それも聞いた。何回同じ事言ってるんだよ。

並木

っていうか、探すの、週末だけで良くないですか？ もう一日中ウロウロしまくって

竹村

て足が取れそうです。ほら、見て、ほら。

竹村

ターゲットは似顔絵描き以外に本業を持っている可能性が高く、その仕事の休みが

並木

週末とは限りませんって言ったのお前だろ。

並木

情報が少なすぎるんですってば。男か女かだって、年だってわからないっていうんだ

竹村

から。

竹村

大学生だったら平日でもありえるだろ。先週の彼は、

並木

わかってますって。ネットが使えればラクなんですけどねえ。もう16日目、あと2

竹村

週間ないじゃないですか。

竹村

飯食って足、くつついただろ。行くぞ。

並木

牛丼じゃくつつかないですよ。

竹村

タマゴつけといて贅沢言わないの。新町駅南口18時24分ターゲット確認できず、

と。

並木

さっきやりましたよ。それ。

竹村

俺らが飯食ってる間に似顔絵屋、始めてるかもしれないねえだろが。

並木

そりゃそうですけど。

竹村

いいから、お前もLINEグループに報告入れとけ。俺は末田の方行くから。

みゃーは次、富士見駅だろ。

並木

はーい。

▽4場

繁華街の路上。夜。一組の若いカップルの内、女性を折り畳み椅子に座らせ、似顔絵を描いている早田。絵の出来栄えを気にして覗き込む彼氏。足早に通り過ぎる人達。「似顔絵1,000円」のスケッチブック看板。

2023/06/12

客1 (男) お。似てる似てる。

客2 (女) ホント？

客1 めっちゃ似てるって。

客2 えー。実物よりかわいく描いてよー。

客1 そんなにかわいいのにもっと？

客2 えへへ。

客1 すげえって。ひかえめに言って召されるレベル。マジ卍。

客2 おっさんかよ。つか、どういう意味なのそれ。

客1 知らん。

早田、最後の仕上げをして似顔絵を客に渡す。

客2 わあ。上手。

客1 うんうん。

早田、スケッチブックをめくる。「ご満足頂けなければお代はお返します」と書いてある。

客1 ご満足頂けなければお代はお返します。

客2 ううん。大丈夫。ね？

客1 だな。

客2 ありがとう。

客1 おねーさん、またねー。

若いカップルは早田に手を振り、楽しそうに話しながらハケていく。

通り過ぎる人達。キャッシュボックスのお金を数え、ため息をつく早田。

一人の男が足を止める。早田がスケッチブックをめくり、再度「似顔絵1,000円」のページに。営業スマイル。しかしこの男も通り過ぎてしまう。

早田 (ため息をつく)

由佳入ってくる。早田の肩を叩いて。

由佳　お姉ちゃん、お疲れ様。

早田、妹を見て安堵した表情。由佳は隣に座り、ペットボトルを差し出す。

由佳　毎度遅くまでがんばるねえ。

早田、ありがとうの仕草。

由佳　お客さんは来てる？

早田、首を振る。しばらくして小池が小走りで入ってくる。

小池　こっちです。こっち。(袖に向かって手招きする)何やってるんですか。この信号長  
いんですよ。んもう。

横断歩道の音。広瀬は車道の向こうに取り残されたようだ。小池、すこし離れた所から写真を  
撮る。由佳、写真を撮られたことはわからなかったが、小池に気づいて。

由佳　似顔絵いかがですか？

小池　あ、えーっと……。すみません。

由佳　ご満足頂けなければお代はお返しします。

小池　じゃあお願いします。

由佳　ホントですか？ありがとうございます！

由佳、椅子を勧める。早田、準備を始める。

小池　(早田に)ちょっとだけ待ってもらって良いですか？連れがもう一人いて。

早田、小池に話しかけられている事に気づかない。

小池　えっと……？

由佳　すみません。この子、耳が聞こえないんです。

小池　あ、そうなんですね。

早田、準備が終わったが、何の話をしていたのかわからずニコニコしている。

由佳　「手話＋発話」お姉ちゃん。お連れ様が来るから待ってって。

早田、うなずく。

小池　ごめんなさいね。トロいオッサンがいて。

早田が笑顔で応えるところに広瀬入ってくる。小池、少し迎えに行つて。

小池　ヒロさん、点滅はダッシュでしょ。

広瀬　サトみたいに体力ねえんだよ。

小池　私、似顔絵描いてもらいますから。

広瀬　ふーん。似顔絵ねえ……。

小池　芝居下手かよ！ほら、行きますよ。

由佳　ありがとうございます。こちらにお掛けください。

小池　お願いします。

小池が椅子に座る。

早田、広瀬、同時にお互いに気づく。

広瀬　美紀？

早田、しばらく硬直した後、走って出て行く。由佳、ワンテンが遅れて。

由佳　あ、ちょっと、お姉ちゃん！？

由佳はける、小暗転後に前明かりに変わる。広瀬、小池舞台前方へ。後方は場面転換。

広瀬　美紀、だよな……。

小池　ヒロさん、知ってる人？

広瀬　多分。

小池　多分って。少なくとも向こうはヒロさんってわかったみたいだったけど。

広瀬　いや、人違いって可能性もあるし。

由佳戻ってくる。

由佳　あの。

広瀬　あ、はい。

由佳　姉と、早田美紀と知り合いですか？

広瀬　知り合いというか、昔……。あ、すみません。

由佳　ほんの少しここお願いします。私、探してきます。

由佳、キャッシュボックスを持ってはけていく。

小池

どうしましょう。

広瀬

ああ、とりあえず報告入れといて。

小池

何て？

広瀬

……。

暗転。音楽。

ひろたけ便利店。電話をしている広瀬、竹村、並木がいる。並木はスケッチブックを見ている。

広瀬 すみません。今ちょっと人手が足りていなくて。はい。あ、来週ですか。それでした

ら……。

並木 ふーん。ああ。おー。

竹村 何だよ。

並木 タケさん、この人イケメンですね。

竹村 は？

並木 こう、目元がシュツとしてて、これはかなりの逸材と見た。

竹村 はいはい。借り物なんだから汚すなよ。

広瀬は電話を終え、何か書類に書き込んでいる。

広瀬 はい。では失礼します。

並木 ヒロさん、続きを。

広瀬 ちょっと待って。

並木 意外だったなあヒロさんが絵描きでプロ目指してたなんて。絵上手だなんて思ったことはありましたけど。

竹村 みゃー、そーゆーところ。

並木 え？

竹村 他人の過去にズケズケ踏み込まないの。

並木 だって、タケさんは知ってたんですよね。高校時代からの友だちなんだから。

竹村 まあな。

並木 早田さんのことも？

竹村 ああ……。

また電話がかかってくる。

並木 また。

並木が電話を取ろうとするが、一番近くにいた広瀬が流れで取る。

広瀬 はい、お困りごと、お悩みごとなんでも引き受けます。ひろたけ便利店です。なんだ、

ふるか。

並木 ふるもスマホ持てばいいのに。

竹村 まあな。

並木 スマホ無しで電車の中でどうやって暇つぶしてるんだろ。

竹村 本読んだりとか、音楽聴いたりとかするんじゃないの。

並木 昭和。

竹村 はあ？

並木 タケさんが若い頃はカセットテープ持ち歩いて、ポケベルとかいう悪のスパイが持つやつ、アレで暗号通信してたんですよね？

竹村 いくつだよ俺。

広瀬戻って。

広瀬 ふるたち、そろそろ戻ってくるって。

竹村 ああ、了解。

広瀬 で、駅の伝言板がどうしたって？

並木 そうそう、駅の伝言板に「XYZ」って書いたり、電報で緊急連絡「ハハキトク、スグカエレ」ってやってたんでしょ？

広瀬 やってたなあー。

竹村 おいおい。

広瀬 家には電話がなかったもんだから、裕福な家庭に借りに行ったりしてさ、こういうやつ。交換手がいてね。繋いでもらうの。

並木 え？電話を？

竹村 ばーか。

並木 え？え？どういうことです？

広瀬と竹村笑う。間。

広瀬 ……別に言いたくなかったわけじゃ無いよ。タケが気にしすぎてるだけ。

並木 ……。

竹村 ……。

広瀬 まあ俺はモノにならなかつたからな。少しは思い出さたくない過去、みたいな感情もあるのかなあ。

並木 何で辞めちゃったんです？絵の学校。

広瀬 上手い人ばかりでさ、しんどかったんだよ。

並木 ふーん。もったいない。それなのに応援したいんです？

竹村 みゃー、それくらいで。

永井入ってくる。

永井 失礼します。

広瀬 どうも。お待ちしました。

永井 すみません。すぐに来られなくて。ウチの会社、決算が今月なもので。

広瀬 いえいえ。

竹村 あれ？城島さんは？

永井 少し遅れてお見えになるそうです。

竹村 そうですか。どうぞお掛けください。

永井 ありがとうございます。えっと……。

竹村 竹村です。

永井 あ、いえ、お名前は覚えています。ひろたけさんのタケさんですものね。

広瀬、スケッチブックを永井に渡す。

広瀬 どうぞ。

永井 これが？

広瀬 彼女の、早田美紀さんの妹さんからお借りしました。

永井、スケッチブックを見つめて。

永井 写真で送って頂いた時に確信していましたが、間違いありません。この人です。

並木 ああ、給水塔が良かった。

永井 え？

並木 いえ。あ、その、古いラテン語で、探している人が見つかって嬉しいって意味です。

永井 そうなんですネ。

並木 すみません。私、たまにラテン語出ちゃって。

永井 いえ。構いません。とにかく、ありがとうございます。

古郡、小池、水谷入ってくる。

水谷 戻りました。

小池 戻りました。

古郡 あれ？お取り込み中でしたか。

広瀬 ちょうどターゲットの確認してもらったところ。

小池 あ、そっか。

水谷 で、

古郡

どうでした？

永井

はい。間違いありません。皆様のおかげです。ありがとうございます。

3人

ああ、給水塔が良かった。

永井

ラテン語。

古郡

え？

並木

きゅわうすうとうおれが。

竹村

古いヨーロッパの言葉なのに、日本語みたいでさ、面白いよな、ふる。

古郡

あ、ああ、うん。

水谷

みゃーさんラテン語話せるんですか？

並木

(小声で) そんなわけではないですよ。

広瀬

では、ご依頼いただいた早田さんについて、ご報告します。

永井

はい。

広瀬

こちらへ。

▽6場

広瀬が永井を客席に連れて行く。(お客さまの邪魔にならない端っこの席へ) 古郡はオペ室へ走って行く。照明変わり、過去の再現シーンへ。音楽。

並木 広瀬 聡太。17歳の夏。夕暮れ時。学校。

広瀬、戻ろうとすると並木に立ち位置を指さされる。

広瀬 え？俺もやるの？

小池 いいからいいから。

広瀬、芝居に入る。棒読み。

広瀬 ああ、今日も美術部の活動で沢山絵を描いたなあ。疲れたなあ。あ、こんな所に演劇部の竹村がいるじゃないか。おーい竹村ー。

竹村 広瀬か。まだいたのか。

僕が美大の受験をする。春に。予備校が今から練習にあるから、

並木、手を叩いて芝居を止める。

並木 一旦止めまーす。あ、音響さん、照明さんも。

音楽止まり、照明も戻る。

並木 ひどいですよ。何ですかあの状況説明セリフ。コントじゃないんですから。

広瀬 いや、そんなこと言っても、俺芝居なんてできないから。つていうかなんでクライアントへの報告を急に芝居でやるんだよ。

並木 劇団プレゼント舐めてんすか？

広瀬 いや、そんなことないけど。

並木 わかりました。今からあなたに演劇の神を降ろします。

広瀬 は？

並木 みんな。

小池、竹村、水谷も集まって謎の動き。古郡もオペ室から参加。

5人 えい！

並木 これで、あなたは役所広司や山田孝之と同じ位上手な役者さんになりました。

小池 それは言い過ぎ。

並木 言い過ぎました。

小池 認めた。

並木 訂正します。これで、あなたは横浜で週1回稽古している社会人劇団の劇団員くらい  
上手な役者さんになりました。

小池 微妙。

広瀬 なにそれ。

並木 脚本の都合。

小池 もちろんラテン語です。

並木 では、再開します。

音楽。照明変化。

並木 広瀬 聡太。17歳の夏。夕暮れ時。学校。

広瀬 おーい竹村。

竹村 広瀬か。まだいたのか。

広瀬 文化祭だろ、部長が張り切っちゃってさ、準備で死にそう。演劇部はどうよ。

竹村 ポチポチってとこかな。こっちも大変だよ。さっきやつと終わったところ。

広瀬 どっちもどっちってことか。まあ嫌いじゃねえけどな、こういうお祭りも。

竹村 お前は美大だろ？ 大学行ってもずーっと文化祭みたいなもんじゃねえの？ 知らんけど。

広瀬 そうなのかなあ。

竹村 六角家寄って帰ろうぜ。

広瀬 またらーめんかよ。マックにしようぜ。

並木 はい。女学生A入って。

小池、入ってくる。

小池 広瀬。

広瀬 ん？

小池 今帰り？

広瀬 そうだけど？女学生Aも行く？マック。

小池 女学生Aは行かない。役に名前もないし。

竹村 まあ、そう言うなよ。

小池 どうしようかな……。じゃなくて、今ちよつと時間いい？

竹村 あ、そういう感じ？俺あつち行ってよか。

広瀬 大丈夫だから。いっていて。

並木 次、早田美紀入ります。照明、ピンク入れようか。

照明変わり、早田、入ってくる。

早田 あの。

広瀬 えっと……？

小池 早田美紀ちゃん。6組の。

広瀬 どうも。

小池 美紀。

小池の促しを受け、早田、うなずく。

早田 絵、素敵でした。広瀬君の。

広瀬 絵？

早田 私も水彩、少し描いてるんです。その、良かったら……。

広瀬 え？ うん。

間。小池が広瀬をはたく。

小池 鈍感かよ。わかるでしょ。馬鹿。

広瀬 いや、そう言われても。

早田 ごめんなさい。そういうんじゃないんですけど、迷惑じゃなければ、私の絵、見てくれませんか？

広瀬 絵を？俺が？

早田 はい。

竹村が広瀬を肘で突く。

広瀬 あ、うん。良いよ。喜んで。でも、俺もたいして描けないから、その……、

早田 本当ですか！

並木、手を叩き芝居を止める。

並木 次、美術館デートのシーン行きまーす。

役者たち (返事をする)

照明、音楽変わる。

並木

こうして2人は清く美しい交際を始めることになったのです。

シーンが変わり、美術館で早田と広瀬が二人で展示を見ている。舞台上に絵は無い。水谷が「お手を触れないでください」の表示を首から下げ、彫刻の形でいる。

早田

この彫刻すごい躍動感。

広瀬

すごいね、まるで生きているみたいだ。

早田

うん。こんなに生きているみたいなのに全く動かないんだもの。見入っちゃう。

広瀬

なになに？「お客さまのリクエストしたポーズに変わる前衛芸術作品です。」だって。

早田

え？本当？

広瀬

AIが搭載されていて、何か言えばそのイメージのポーズに切り替わるんだって。

早田

すごい！

広瀬

えーっと、じゃあ、〇〇（アドリブで）。

水谷言われたもののイメージのポーズが変わる。

並木

世羅、もっと彫刻の気持ちにならないと。

水谷、すこし神妙な顔になる。

広瀬

本当に変わるんだ。

早田

じゃあ、〇〇は？

水谷再度ポーズを変える。早田、広瀬拍手。

広瀬

（客席に）どなたかリクエストありませんか？

早田

何でも構いませーん。

客席から声が上がればそれを。なければ永井からお題をもらう。

広瀬

では、〇〇をお願いします。3、2、1、はい。

水谷ポーズを変える。早田、広瀬で客席に拍手をあおる。

広瀬

これは芸術の新しい形かもしれない。本当に生きているみたいだ。

早田

生きてるなんて、そんなわけないわよ。

広瀬

熱湯かけてみる？

早田

なんという偶然かしら。あんな所に熱湯入りポットが。

水谷、次の展示へ行けと促す。水谷のいたエリアは照明が落ち、ハケる。広瀬と早田は歩き出し、舞台袖奥を（そこに絵があるという体で）見つめた早田が先に立ち止まる。

早田 川。

広瀬 え？

早田 ……川だ。

広瀬 うん。

作品に見入る2人。

早田 このタッチ、すごい。

広瀬 流れているようで、逆らっているようで。

早田 私、今、川を描きたいんです。深い深い青を使って、川を。

広瀬 うん。

間。並木、手を叩いて芝居を止める。

並木 はい。オッケー。じゃあ次、観劇後のシーン。夜ね。照明、音響よろしく。あ、ここちよつとエモいシーンだからスモークたこうか。

スモークがたかれ、小池が攪拌する。竹村入ってくる。並木、手を叩く。

竹村 おお、ヒロ、美紀ちゃん、今日は観に来てくれてありがとうな。

広瀬 お疲れ。

早田 お疲れ様です。お芝居、素敵でした。

竹村 ごめんね、美紀ちゃんは無理して予定合わせてくれたんだよね。

早田 ヒロくんと言われてたんです。

広瀬 あ、馬鹿。

早田 これから毎年、「海の日」の連休にお芝居観に来て！」ってタケ君から連絡くるよって。応援してます。

竹村 ありがとう。こうやって忙しい中、劇場まで足を運んでくれる人達に支えられて僕らは好きな事ができる。本当にありがとう。

竹村、半分客席に向かってお辞儀。

竹村 じゃ、俺まだ劇場戻って明日の支度しないとだから。

広瀬 明日は台詞飛ばすなよ。

竹村

頑張るよ。

竹村ハケる。2人見送ってすこし歩く。

広瀬

美紀。

早田

ん？

広瀬

あの時、勇気を出してくれてありがとう。

早田

あの時？

広瀬

高校で、文化祭の準備してた時さ、初めてマクドナルド行ったじゃん。

早田

ああ。

広瀬

忘れてたのかよ。

早田、少し照れる。

早田

もちろん覚えてるよ。

広瀬も少し照れる。

早田

私はね、ヒロ君のこと尊敬してるんだ。

広瀬

俺を？

早田

ヒロ君、いつでも人に感謝してる。ううん、人だけじゃない。生まれたことや、とり

まく環境にも感謝してる。

広瀬

そうかな……。

早田

私、素直に感謝の気持ち言えない事多いから。そういうの素敵だなんて。

広瀬

ありがとう。

早田

ほら。

広瀬

あ。

2人笑う。川べり。土手沿いの道。夜。対岸にはビル街。涼やかな風。

並木

音響。

音楽入り、少しの間見詰め合う2人。

早田

描いてるんだ。

広瀬

え？

早田

うん。絵。

広瀬

あ、いや……、まいつか。

早田 想いが伝わってくるような、何かが届く絵が、描きたいの。あなたみたいに。

間。景色を眺める2人。

広瀬・早田 あ。

広瀬 見た？

早田 うん。

広瀬 流れ星。

早田、対岸に向かって手を伸ばして。

早田 横浜の灯り。

広瀬 うん。

早田 綺麗。

広瀬、少し早田を見つめた後、しばらく無言で夜景を眺める。

広瀬 ありがとう。

早田 また。

広瀬 あ、いや、今のは美紀に言ったんじゃないよ。

早田 ふふふ。

2人笑顔。暗転。舞台下、並木位置にスポット。

並木 向こう岸に見える横浜の街に落ちる流れ星、良いですねー。

広瀬、並木の隣に。

広瀬 ああ、今でも思い出せる。あの風景より綺麗なものを俺はまだ知らないよ。

並木 あ、ヒロさん、出てきちゃダメですよ。このまま最後、別れのシーン行きまーす。照明少し黄色か何か色入れようかな。サト、スモークちよつと足して。

照明がつき、スモークがたかれ、再度小池が攪拌する。広瀬は戻らない。

並木 ヒロさん？

広瀬 すまん。みゃー。

照明戻り、音響消える。

並木

どうしました？

広瀬

ここは再現できないわ。

並木

あ、ごめんなさい！ こういうところですよ。

竹村出てくる。

竹村

そう。そういうところ。

広瀬

タケ……。

竹村

いつの間にか疎遠になっての自然消滅、だよな。

広瀬

フラれたんだよ。急に連絡取れなくなったんだ。

並木

え？急に？なんで？

竹村

みゃー。

広瀬

すまん。勘弁してくれ。

▽7場

竹村が並木に代わり手を叩き、完全にひろたけ便利店の世界に戻る。並木、はっとして。

並木

お疲れ様でした。ふるも戻ってー。

永井は拍手とともに舞台に戻る。古郡オペ室から戻る。

並木

どうでしたか？ 回想シーン。プレゼンティッドバイ劇団プレゼント。

永井

あ、ええ。いやぁお芝居なんて久しぶりに観ましたので。

小池

あ、一体何を見せられていたのかって思っていますね。安心してください。お客さまの半分はあなたと同じ気持ちです。

佐伯が入ってくる。

佐伯

お邪魔しますよ。

広瀬

あ、ども。

佐伯

(咳き込んで) どもじゃないですよ。まったく。

広瀬

いや、これは、

佐伯

下の階から煙が出るって、向かいの斉藤ビルのオーナーから。そしたら案の定ですよ。オタクの煙でみんな死んじゃいますよ。

並木

(小さな声で) いえ、この煙は化粧品や医薬品にも使われる成分でできた無害の煙で、何か言いました？

佐伯

ご心配かけてすみません。でも、これは消防訓練なんかでも使われる安全な煙なんです。

佐伯

そうなの？

広瀬

はい。

佐伯

ふーん。  
斉藤さんには、ご心配かけたこと私からも謝っておきます。

広瀬

そう。

広瀬

上の階の事務所にもご説明にあがりますね。ご迷惑お掛けしてすみませんでした。

佐伯

まあ：そういうことならいいんですけど。

広瀬

すみませんでした。

佐伯

気をつけてくださいね。

佐伯ハケる。

古郡 腹立つなあ。

竹村 ふる。

古郡 もう入り口に鍵かけちゃいませんか？

竹村 そんなことしたら他のお客さんが入ってこれないだろうが。

古郡 でも……。

広瀬 まあそういうな。

古郡 ……はーい。

間。小池、ベレー帽を被り出てくる。

小池 永井さん。

永井 はい。

小池 お探しの彼女、早田美紀さんは、タケさんの友人、ヒロさんの恋人でした。永井さんは何かご存じだったのではないですか？

永井 ……。

小池 この広い横浜で似顔絵描きを探せっていう無茶な人捜し、やっとのことで見つけてみたら、あらまあ何という偶然か、私たちの身内の知り合いだった訳です。

永井 それは、

小池 まるでお芝居みたいなお話じゃないですか。

永井 ……。

小池 芝居の下手なボンクラどもはだませても、

小池にスポットライトが当たる。効果音。

小池 この時空探偵ケイトは、全てお見通しき！

スポットライト消える。

永井 じ？じくう？

竹村 あ、やりたいだけなんです。

古郡 お気になさらず。

永井 広瀬さんと早田さんにお互い面識があることは知りませんでした。  
小池 そうなのですか？

永井 ええ。

小池 ふむ……それはラテン業界では良くある偶然だったと……。

並木 ホント、良くあるのよねえ……。

永井 ……そもそもの発端は私の知人に遺された1枚の似顔絵でした。

竹村 遺された？

永井 はい。彼女は、旦那様を亡くされているのですが、生前、横浜のどこかで似顔絵を描いてもらっていて。

並木 それがこないだ見せてくれた写真？

永井 はい。その絵を見て、驚きました。似顔絵は特徴を強調して描かれることが多いのですが、そうではなく、写実的で、お会いしたことがない方のお人柄が水彩の絵の具を通してでも伝わってくるような……。

水谷 そんなにすごい絵だったんですか。

永井 信じていただけないかもしれません。

古郡 わかります。あ、いえ。わかる気がします。

永井 ありがとうございます。このスケッチブックの人物画も、さっと描かれたものばかりではありますが、その片鱗が見える。これほどの可能性を秘めた人がいるならば、どうしても見つけ出したい。せめて作品を世に出したい。

城島入ってくる。

城島 我が社と契約できれば大きな利益にもなり得るしね。

永井 城島さん。

小池 時空探偵っぼい！登場が！

城島 ん？じくう、何だっって？

竹村 ああ、お気になさらず。

古郡 すみません。

古郡、小池のベレー帽を取り、舞台袖に放り投げる。

ひろたけ便利店。皆で城島の話聞く。

城島

あの絵の素晴らしさを伝えるためにも、ウチの公募展に出してもらいたいと考えていてね。

古郡

公募展に？

城島

うん。そもそも、油絵や水彩画だけで芸術を追究して、さらにご飯をたべていくことはとても険しい道なんだ。

古郡

そうなんですネ。

城島

プロを目指す場合、永井君の事務所のようなアートギャラリーと契約して自分の作品を販売してもらおう代わりに委託料を払う事が多いみたいだね。公募展やコンテストで賞を取れば多少だが賞金だって入るし、知名度も上がる。そうすれば、より良い条件で契約してもらおうこともできるかもしれない。

小池

なるほど。

城島、真剣な顔になり。

城島

しかし、これは旧世代のやり方だと私は思う。

小池

旧世代、古いつてことですか？

城島

少し持論めいた話になってしまっただが、商業と芸術が完全に融合することはないのでと思う。アーティストが一生を掛けてでも産み出したいと願う物と、その市場価値は一致しないことが多いんだ。

小池

少し、難しいです。

城島

音楽や映画やゲーム、それこそお芝居なんかでも「作りたいものと売れるものは違う」なんて話を聞いたことが無いかい？

小池

あ……。

城島

話を戻そう。わが社では、そういった芸術家を応援すべくアートの価値を高める活動をしている。その1つが今回の、新しい審査基準の公募展なんだ。

城島の携帯が鳴る。

城島

失礼。

並木

いいところで。

電話に出て。

城島 ああ、わかった。む、そうか。わかった。すぐ戻る。

並木 来たばかりなのに。

城島電話を切り、その間に永井がタブレットを持って後を引き継ぐ準備。

永井 ここからは私が。

城島 大丈夫かい？

永井 ええ。要項は準備してありますので。

城島 すまない。(皆に向かって)申し訳ないが社に戻らなければいけなくなりました。

失礼するよ。

城島ハケる。

竹村 あ、準備して。

照明暗くなり、プロジェクタから説明資料が映写される。

永井 では、審査基準についてこちらの資料からご説明します。今回のピックアップアドさん主宰の公募展は、いわゆる審査員審査だけではなく、

由佳が入ってくる。照明戻り、映写消える。注目を浴びて由佳、テンパる。

由佳 あの……。

広瀬 早田さん？ あ、由佳さん？

全員 え？

並木 どうしてここが？

広瀬 名刺をお渡ししたんだ。スケッチブック借りてるんだから当たり前だろう。

小池 どうされました？

由佳 あ、先日の、えっと、姉とおつきあい、あ、その、

広瀬 広瀬です。

由佳 失礼しました。はい。お名刺を拝見して、便利屋さんだとか。

広瀬 ええ。

由佳 いえ。(皆に) あ、美紀の妹の由佳です。というか私、ヘンなところに割り込んだんじゃないですか？

永井 そんなことありません。ちょうどお姉さんのお話をしていたところです。

竹村、椅子をすすめる。

竹村

どうぞ、お掛けになって。

由佳

ありがとうございます。

広瀬

何か、お困りの事がありましたか？

由佳

その……、広瀬さんに、便利屋さんに、姉の事をお願いしたいんです。

広瀬

お伺いします。

由佳

姉のえん罪を、盗作のえん罪を晴らしてください。

一瞬場が凍り付く。

広瀬

何があつたのですか？

由佳

姉は今、自宅でその……ちよつと落ち込んでいます。申し上げづらいのですが、広瀬

さんに会ったことで、昔を思い出してしまったようなのです。

広瀬

昔を。

由佳、前に出てナレーターになる。前明かり。この間に舞台上を整理し、再現芝居の準備をする。早田、小池を残しハケる。(古郡はオペ室に行かない) 音楽。

由佳  
姉は、絵を描くことが好きで、高校を卒業しても有名な水彩画の先生がいる美術予備校に片道2時間近くかけて通って、絵を描き続けていました。でも、あるコンペに出展した作品が、他の方の作品と、そっくりだって盗作疑惑を掛けられたんです。実は、それがきっかけで……。

広瀬、前に出る。

広瀬

聞こえないように？

由佳

はい。姉は中途失聴者ですから、本当は言葉を話すことができるはずなんです。でも、相手が姉を健聴者、聞こえると思って話してくる人とのコミュニケーションは難しくって。唇の動きを読みながら会話するには集中力が必要で結構大変なんです。聞こえなくなっただけからは、極端に口数が少なくなっただけで、最後に姉が声を出したのはいいだったか思い出せません。

舞台、明かりがつく。由佳と広瀬はそれを見る。早田と小池がいる。

小池

たまたま、たまたまだよ。偶然だって。

早田

うん。

小池

何かの間違いとか……。

早田

うん。

間。先生役として古郡が入ってくる。

古郡

早田君……。残念です。

早田

え？

古郡

どんな芸術も、その技術の習得はまず模倣によって成されます。

小池

先生。

古郡

しかし、それを自分の作品として発表してはいけない。そんなことは今さら教えるまでもないと思っていましたかね。……しかも、今回は相手が悪い。

小池

どういふことですか？

古郡

盗作被害を訴えているのは実際の描き手ではありません。彼の後援者である、あの高松先生なのです。

小池 証拠があるんですか？  
古郡 構図、タッチ、描かれているものが似通っていると聞いています。  
小池 そんなの偶然かもしれない。実物を見たんですか？向こうが美紀のアイデアを盗んだかもしれないじゃないですか。

決めつけていた先生、少しだけ状況を理解する。

古郡 ふむ……。では逆に伺いますが、高松先生に盗作を認めさせることができると思って  
いるのですか？

小池 私が？先生は、  
早田 もう、いいよ。

小池 良くない！先生は！先生は美紀の味方じゃないんですか？

古郡 女学生B。  
小池 はい。

古郡 例えそうであったとしても、私の力では何もできないのですよ。  
小池 ずるい、そんなの逃げてるだけじゃないですか。

古郡 ……高松先生に逆らって生きていくのは、  
小池 美紀は、あの絵はどうなるんですか？

古郡 出品を取り下げましょう。  
小池 どんな思いで描いた絵かわかってるんですか？

古郡 ……どうしても出したいとおっしゃるのなら、退学、なさいますか。  
小池 そんなの、あまりにも！

早田 もういいの。ありがとう。  
小池 美紀……。

早田 女学生B……。

暗転。雑踏の音。留守番電話の音声聞こえる。

留守電 「もしもしお姉ちゃん？今どこ？LINEにずっと既読つかなくて。もしかして  
お酒でも飲んでる？連絡待ってまーす。」

電子音

留守電 「お姉ちゃん？どうしたの？何かあった？そろそろ電車無くなっちゃうよ。LI  
NEでも電話でも良いから折り返して」

電子音

「お姉ちゃんお願い。連絡して。心配してます。お願い。」

明転。深夜の繁華街。雑踏。由佳と広瀬はもういない。舞台上には早田、町の人として竹村、並木、古郡、小池、水谷が背を向けて立っている。遠くで救急車のサイレン。

早田

なにも無くなっちゃった。

竹村

お姉さん、ヒマしてる？

早田

……。

古郡

もしもーし。おねーさん。

早田

……。

竹村

んだよ。行こうぜ。

竹村、古郡はける。

水谷

やっぱーもう帰れないし。

小池

あ、ホントだ。

水谷

ウチ親うるさくてさー。

佐伯

始発で帰ればいいじゃん。

小池

じゃカラオケで。

水谷、小池、並木はける。しばらくして由佳入ってくる。

由佳

お姉ちゃん！

早田

由佳……。

由佳

良かった。

早田

ごめん。

由佳

もう、心配したんだよ！お父さんあつちで駐車場探してるから。

早田

うん。

由佳

先生から話聞いたから。

早田

え？

早田びくつとする。間。由佳、ゆっくりとした口調に変わる。

由佳

夕方、先生から家電いえでんがあつて。

早田

先生から？

由佳

もう、絵の道は忘れよ（口パク…うよ。ほら、デザイナーになるっていう手もあるし）

環境音止まる。由佳の音が聞こえなくなる。無音。

早田 なに？

由佳 (口パク)

早田 ふざけないで。え？ 由佳。

由佳 (口パク)

異変に気づく由佳。姉の肩を掴み必死にしゃべるが届かない。通り過ぎる群衆。無音。暗転。

ひろたけ便利店。永井の説明が終わったところ。小池が再度ベレー帽を被っている。

小池　　こちらで一旦情報を整理しましょう。

古郡　　あ、あいつまた。

小池　　そこ、お静かに。ワトソン君、みなさんを集めてもらえますか。

水谷　　ワトソン？

小池、左腕でベレー帽を直すそぶり。

竹村　　おい、なんだよそれ。

小池　　さすがタケさん、見事な観察眼ですね、感服致しました。いつのまにか私が時計をしていることに気づきましたか。

小池、にやりと笑う。

竹村　　そこじゃねえよ。にやりじゃねえよ。

小池　　このお芝居があと何分で終わるのか気にしているお客さまがいらっしやっただけね。

竹村　　だから、時計じゃねえよ。そもそも気づいてねえよ。

小池　　まあ、良いでしょう。

竹村　　時空探偵じゃねえのかよ。キャラブレすぎだろ。

小池、時計を指差して。

小池　　「時」空探偵と申し上げたでしょう。

並木　　おお。力技。

水谷拍手。小池、由佳の方を向いて。

小池　　これで全員かな。ワトソン君。

由佳　　え？私ワトソン？

古郡　　城島さんは呼び出しづらいな。

永井　　さきほど戻られたばかりですからねえ。

小池　　よろしい。

小池、皆を見渡して。

小池 真犯人はこの中にいる！

皆、一瞬凍り付き、後ザワつく。

小池 満足。では、話を戻します。

竹村 言いたかっただけかよ。

並木 ちよつとわかるわー。

小池 ひろたけ便利店に舞い込んだ2件の依頼。最初の依頼はピックアドの城島さん、ユジ  
ンダール永井さんからのものでした。依頼内容は横浜近郊で似顔絵を描く絵師を探し  
て欲しい。

永井 ええ、はい。

小池 優秀なる時空探偵ケイトの力によって、早田美紀さんの発見に至り、無事この困難な  
ミッションは達成されました。

竹村 俺はもうつつこまない。

小池 しかしながら我々は、彼女の妹さんである早田由佳さんから新たなご依頼を受ける  
こととなります。

由佳 ええ。はい。

古郡 なぜ今頃になってえん罪を晴らしたいって思ったんですか？

由佳 最初は忘れようとしていました。心の傷が、その……、

広瀬 ……。

由佳 姉が再び絵筆を持つようになるまで、3年くらいかかりました。「やっぱり私、絵  
が好きだ」って。

間

由佳 プロを目指すことは諦めていました。福祉の援助を得ながら、趣味半分で似顔絵を描  
いたりして、そんな暮らしも良いのかなって。だけど、それって、

永井 それは美紀さんがいるべき場所じゃない。あんなに素敵な絵が、無実の罪で誰にも認  
められないなんて、悲しすぎるじゃないですか。

由佳 姉の作品を知って下さっているんですね。

小池 ええ、しかもこの方、プロの審美眼をお持ちです。

永井 ええ、まあ……。

由佳 ありがとうございます。今の姉は前を向こうとしています。あの時闘わなかった自分  
をきつと、後悔しているんだと……思うんです。そんな時に偶然、姉が昔お付き合い  
していた、広瀬さんと出会えて。もしかしたら私たちを助けてくれるんじゃないかっ  
て。

竹村 お困りごとお悩みごとはなんでもひろたけ便利店へ。

広瀬

しかし、彼女は、

由佳

姉が逃げ出したのは広瀬さんに会いたくなかった訳じゃないんです。罪を着せられて夢を諦めたあの時を思い出したくなかっただけなんだと思います。

並木

それか体臭？

水谷

ああ。

広瀬

は？納得してんじゃねえよ。

小池

由佳さん、ありがとうございます。

小池の仕切りは続く。

小池

さて、由佳さんと順序が前後しますが、永井さん達が早田美紀さんを探していたのは秋の公募展に彼女の作品を出品しなかったから。ですよ、永井さん。

永井

はい。

由佳

え？

永井

改めてお願いします。お姉さんに、新作を描いて頂きたいのです。

由佳

えっと、秋の、ですか？

小池

由佳さん、今はまだ美紀さんのお名前を出せないのはとご心配されていますね。

由佳

盗作の言い掛かりが晴れない以上、姉が作品を出してもきつと酷評されるだけで、

小池

ご安心ください！先ほどスライドでご説明いただいた審査基準があるじゃないですか。

並木

あ、そのシーン、カットになってるから。

小池

何ですと？

並木

そういうやつ、お客さん飽きちゃうからさ。

小池

ふむ……、よろしい。

永井

かいつまんで言うと、一般投票と審査員審査の両方の合計得点で順位がつくもので、今の時代にあわせた、開かれた審査形式です。

水谷

紅白歌合戦と同じですね。

永井

一般投票には展示会場でのものと、ウェブサイトを通じての投票があります。

由佳

画面越しに絵の良さってわかるものですか。

永井

私たちはネットを通じて色々な製品やサービスを提供していますからね。コンピュータやスマホの画面越しにでもユーザにその良さが伝わる作品は、言い換えれば市場で求められている作品だと理解しています。

小池、時計を指しながら再度にやりと笑い。

小池

ここで時空探偵ケイトはひらめいた！いいですか、みなさん、これはチャンスなのです。

チャンス、ですか。

小池 由佳 ええ。しかし、私たちはまず、一連の盗作疑惑はえん罪であるという前提に立つ必要がありません。

由佳 それは間違いありません。姉がああ絵を描くときには今までに無いほど集中していて、ほとんど外出していません。

小池 由佳 それだけでは根拠が少し弱い。「ほとんど」はゼロではありませんし、インターネットから何らかの情報を得ることもできたでしょう。

広瀬 相手の作家さんはどなただったのですか？

小池 相手？

広瀬 盗作ってことは似た絵があつたんだろ。

由佳 わかりません。展示会を見に行けばわかつたのかもしれませんが、姉の事で忙しくつて。

広瀬 そうですか……。高松先生と言っていましたよね。

永井 正直、若者にはあまり評判の良い方ではありませんね。

広瀬 時期はいつ頃でしたか。

由佳 6年……いや、オリンピックのあつた年だから7年前ですね。

広瀬、少し考えて。

広瀬 サト、これはえん罪だ。

小池 ヒロさん。

永井 ご存じのですか？

広瀬 直接お会いしたことはないのですが、私が絵を描いていた頃、ウチの学校も先生の画廊から後援を受けていました。でも、高松先生は不祥事で引退されたんじゃないかな……。

永井 正確には不祥事ではありません。作家さんとの契約条件があまりにひどく、マスコミに叩かれたんです。

古郡 今で言う、やりがい搾取のようなことでしたよね。

永井 自分が主催する公募展で賞を取らせて、そこで話を持ちかけていたようです。初入选ともなれば断りづらいですからね。

永井 多くの若い作家さんと契約していました。そこまでは良いんですが、例え実力がついて、絵が売れ始めたとしても殆どがギャラリーに、要は先生に入るような内容だったと聞きます。

古郡 地下アイドルみたいだ。

永井 この業界でも最初こそ大きなニュースでしたが、その後の報道は小さく、すぐに風化してしまいました。

間。

小池　ふむ。目をつけた絵描きさんに無理矢理賞をとらせたかった。あり得そうな話ですね。  
広瀬　なにより、美紀は人の絵を盗むような人じゃない。責任は俺が取る。話、進めてくれ。  
小池　わかりました。

小池、周りを見渡して。

小池　結論から申し上げます。新しい審査基準を活かして、一般票を獲得しましょう。  
竹村　そんなにうまく行くのかね。  
小池　ご不満でも？

竹村　いや、不満じゃねけどよ。

小池　相手はインターネットの戦いに慣れていないはずです。十分に勝機はあります。もし  
ジュウシマツ先生一派がいちやもんをつけてくればそれも良し。由佳さんが探  
している相手の作家さんへ繋がる手がかりが得られるでしょう。  
水谷　なるほど。

小池　これはえん罪ですから。

竹村　じゃあ俺たちがすべきことは、

小池　美紀さんに公募展に出品してもらおうこと。  
並木　そして優勝できる一般票を獲得すること。

永井　いいですね！

由佳　優勝？

永井　お姉さんの絵は本物です。

小池　（由佳に）だそうですよ。

広瀬　優勝か……最優秀賞ってことだな。

古郡　把握しました。

小池　よろしい。

古郡　でも、美紀さんは描いてくれるでしょうか。

並木　ちよっと急すぎるか。

古郡　心の準備が。

水谷　昔の彼氏は臭くなってたし。

広瀬　なってねえよ！主にレノアの匂いだよ！

竹村　最悪は新作じゃなくても構わないんだろ？

永井　ええ。未発表のものであれば。

由佳　未発表か……。

由佳、決意して。

由佳 私、みなさんのこと姉に話してきます。こんなにみなさんに応援して頂いてるんですから。きっとわかってくれると思います。

皆、やったるぜという感じになる。

広瀬 決まりだな。

由佳・永井 お問い合わせします。

小池 行くぞ！腰抜けども！

全員 優しい世界の為に！

竹村 キャラよ……。

暗転。

音楽。舞台に並木と竹村がいる。並木はコンピュータを、竹村はスマホを操作している。

並木　こんなもんかな。ちょっとテストするから繋げてみて。

竹村　了解。

並木　どう？

竹村　いいんじゃない？

並木　よし。あとSEOはと……。

竹村　すごいな。デザインも今っぽいし、色々な作品が見られる。こんなに早くできちゃうものなの？

並木　私じゃなくて由佳さんですよ。

竹村　ああ、こういう仕事なんだっけ。

並木　私はアップロードしてほんの少し調整しただけです。

竹村　えっと？

並木、笑顔で。

並木　よくわからないって言われたら黙ってるすつとこどっこいっていうしか無いんですけど。

小池、バッグを持って入ってくる。

小池　お疲れ様ー。差し入れ

竹村　お。エネルギーが来た。

小池　みゃーが先。

小池、バッグからお菓子とペットボトルを取り出して並木に。

並木　ありがとう。

小池　タケさん、役に立ってました？

並木　まあ……。それなりに。

小池　はい。じゃあどうぞ。

竹村　なんだよ。それ。

小池　働かざる者食うべからずですよ。で、どうです？

小池、竹村にも包みを渡し、並木のパソコンをのぞき込む。

並木 だいたいできたよ。

小池 わあ。いいじゃん……これ、美紀さんの今までの作品？ やっぱり素敵だね。

並木 うん。投票、してもらえるかな。

小池 後は美紀さんが新作を描く気になってくれるか。

並木 簡単じゃないよね。

小池 うん……。

永井、大きめのバッグを持って入ってくる。

永井 こんにちは。

小池 永井さん。

並木 おかえりなさい。どうでした？

永井 はい。映像、音楽とも足りなかった素材は集められたと思います。

並木 手伝わせちゃってすみません。お仕事、大丈夫ですか？

永井 信じた作品には、とことん向き合えて、昔城島さんにたたき込まれましたから。

並木 素敵なお上司。

並木、小池、竹村を見る。何か食べている。

永井 仕事には本当に厳しい方ですからね……。あれ？

竹村 ん？どした？

舞台前側スポットライト。ビラを持った広瀬、古郡。袖近くにビラが落ちている。

広瀬 おねがいします。絵画展のお知らせです。

古郡 投票おねがいします。

しばらくビラを配る仕草。

広瀬 何時？

古郡 え？えっと、4時19分ですけど。

広瀬 45分になったら新町まで移動するか。

古郡 あ、はい。わかりました。どうして？

広瀬 あっちの方が会社帰りの人が多いからな。

古郡 なるほど。

広瀬 おねがいします。

古郡、袖近くのビラを拾う。

古郡　これ、意味あるんですかね。

広瀬　何もしないよりはマシだろ。

古郡　絵なんて、興味なかったもんな……。

広瀬　別に。普通じゃねえの。

古郡　まあ。

広瀬　後悔したくないからさ。やれることは全部やりたいんだ。

古郡　ヒロさん。

広瀬　おねがいします。あ、ありがとうございます。

古郡　……ですね。

古郡、一転吹っ切れた表情。

広瀬　まあ、ふるは巻き込まれてる側だもんな。

古郡、姿勢を正し、深呼吸。

古郡　フレーフレー美紀さん。頑張れ頑張れ美紀さん。

広瀬　……。

古郡　見損なわないでください。困ってる人、悩んでる人を助けるのがひろたけ便利店で

しよう？

広瀬　……。

古郡　知ってます？僕、芝居下手ですし、客も呼べない三流の役者なんです。バイトと稽古の毎日でホントにこれで良いのかなって考えてます。でもヒロさん。

広瀬　うん。

古郡　僕には夢があります。これ、ヒロさんがくれた夢なんです。30までは役者でやってみようって。今やめたらきつと後悔するから……。だから！僕は、僕のできる小さなことで誰かを少しでも助けたいんです。ヒロさんみたいに。僕は……僕は、今の自分を誇りに思っています。だから、ふる。

古郡、すがすがしく、満面の笑みで。

古郡　時給、上げてください！

スポットライト消え、別の場所にスポットライト。城島と永井がいる。

城島 高松さんか。

はい。

城島 良いのかい？ 君の友人も昔、お世話になっていたとか、

永井 お世話？とんでもない、彼は先生に騙されたんです……。手当り次第に契約してた宝くじ作家、当たればラッキーの1人だったんでしょう。そこそこに売れましたが、例の契約ですからね。

城島 ふむ。

永井 解除する為の違約金も払えず、食うや食わずの末に作家の道は諦めて、どこかの学校の美術教員に収まったんです。

城島 そうだったのか……。

永井 先生の不興を買ったツケは大きくて、教員になった後も嫌がらせは続いたと聞きます。心を病んでしまつて、今は故郷で暮らしてますよ。

城島 ……壊さねばなるまいな。

永井 はい。

城島 しかし、命を削つて作品を創り出す彼らと、私たちは仕事をしているんだ。

永井 それは早田さん以外の作家さん達も同じ。皆さんがそれぞれの人生を傾けた作品を創られていて、審査を私情に委ねることなどできない。そういうことですよね。

城島 さすがだね。

永井 (笑つて) 何年一緒に仕事してきたかお忘れですか。

舞台後方に明かり。ひろたけ便利店。竹村、並木、小池、永井がいる。皆でテーブルに置いた電話機を見つめている。

竹村 あとは、美紀ちゃんが新作を描き始めてくれるかどうか。

永井 改めて創作活動に向き合うのは勇気が要ることだと思います。

小池 聞こえなくなるほど、でしたもんね……。

間。

竹村 2時だつて。連絡くるの。

並木 はい。14時までにはその電話につて、由佳さんが。仮に説得できなくても、昔描いた絵を出すつて言つてくれてはいるんですけど……。

水谷 入ってくる。

水谷 間に合ったー。

竹村

お帰り。

並木

今日の便で送れた？

水谷

はい。急に福岡営業所？の所長さんが面倒くさい感出してきて。

並木

お店にポスター貼るだけなのに。

竹村

平気だったの？

水谷

なんとか。

広瀬、古郡入ってくる。

古郡

戻りました。

広瀬

由佳さんから連絡あった？

小池

まだです。

広瀬

そっか。

古郡

長引いてんのかな。

間。広瀬は不安そう。

小池

大丈夫ですよ。

水谷

そうですね。

並木

そうですね。

永井

ええ。

小池

きっと、描いてくれます。

広瀬

……。

小池

わかるんです。私。きっと描いてくれます。

広瀬

でもさ、

小池

ここ、ヒロさんが想像しているより「優しい世界」ですよ。

古郡

そうかもしれないね。

▽12場

佐伯入ってくる。

佐伯 お邪魔しますよ。

広瀬 あ、ども。

小池 あれ？

古郡 今日はスモークたいてないのに。

広瀬 どうされました？

佐伯 領収証。

広瀬 わざわざすみません。

佐伯、一旦ハケようとして。竹村に。

佐伯 今日は何の集まりですか？

竹村 応援です。

佐伯 応援？

竹村 あ、もちろんご依頼なんですけど、いったんは絵の道を諦めた画家の。

古郡 彼女の濡れ衣を晴らそうと。

佐伯 ふーん。そう。

並木 煙は出しませんので。

佐伯 頑張つて。

並木 え？あ、はい。

佐伯 皆さんの応援なら、きっと届きますよ。

竹村 ありがとうございます。

広瀬 ありがとうございます。

皆、お辞儀をするか、お礼を言う。

小池 じゃあ、煙も？

佐伯 調子に乗らないでくださいね。

佐伯、ビラを取り出す。少し笑顔でハケていく。

古郡 意外。

小池 うん。

竹村 そんなことねえよ。ああいう人なんだ。

小池 だって、スモークたいただけであんなに。

竹村

俺たちに敵を作って欲しくなかったんだろ。

広瀬

格安でここ、貸してくれてる上に、業者への支払いもずっと建て替えてもらってたんだから。

小池

え？

並木

そうだったんですね……。

竹村

(電話を見て) 届くといいな。

皆の意識が電話に戻る。

並木

頑張っつて。

広瀬

今何時？

小池

えーっと。

永井

1時47分です。

古郡

遅いね。

水谷

まだ13分あります。

沈黙。間。由佳と美紀が入ってくる。

由佳

こんにちは。

並木

由佳さん！

由佳

すみません急に。お電話よりも直接お礼をって、姉と。

美紀お辞儀をする。

広瀬・竹村

美紀ちゃん。

美紀、広瀬の前へ。広瀬にも深々とお辞儀をする。美紀、手話で。

由佳

あの時は、逃げ出してしまっつてすみませんでした。驚いてしまっつて。

広瀬

こちらこそ。あの、ごめん。あの……久しぶり。

由佳

みなさんが、私の作品を応援してくれてるって聞きました。本当にありがとうございます。

広瀬

絵、描いてるんだね。

早田

「手話」はい。少しずつですが、絵、描き続けています。

由佳が並木達と話しているため、広瀬、何を言われたかわからない。

由佳

応援サイト、ありがとうございました。PVも最高でした。

永井 お役に立てて光栄です。

並木 由佳さんのおかげですよ。

由佳 (明るく全体に) そうそう、本題を。お姉ちゃん、作品描きます！

並木 ホント？

小池 やった！

古郡 良かった。

小池 ね、ヒロさん。

皆、口々に喜ぶ。美紀、再度お辞儀をしてから由佳の袖を引く。

由佳 あ、そっか。実は、皆さんにもう一つお願いがあるんです。

竹村 お困りごとですか？

由佳 絵の具が、特別な絵の具を探してくれませんか？

並木 特別な？

由佳 はい。青い絵の具です。姉が言うには、ただの青じゃなくて深い深い、そう、海を越えていくような青。

小池、古郡飛び出てくる。

小池 ちよっと待った！

古郡 それ。新横浜の辺りでそんな話をきいたことがあります。

小池 うん。去年の7月だったはず。

由佳 え？ 本当ですか？

古郡 はい。アフガニスタンから直接輸入している画材屋さんがあるとかないとか。

小池 いったんはお店、畳むことになったけど、息子さんが継がれたとかなんとか。

永井 曖昧ですね。

小池 とにかく、私たちに任せてください。きっとまだ劇団員の家にあるはずです。

古郡 中身は100均の砂ですけどね。

広瀬 どういうこと？

小池 ラテンの香りが漂ってききましたか？

由佳 ええ。少し。

古郡 とにかく、ご心配なく。必ず手に入れますので。

由佳 わかりました。お願いします。(美紀に向き合って) 良かったね、お姉ちゃん、手に入るって。

美紀、喜び、再度深々とお辞儀をする。暗転。

音楽。ひろたけ便利店の応援は続く。竹村、並木、永井、由佳が打ち合わせしている。

並木　じゃあ英語と中国語だけですかね。

永井　2つならなんとかなると思います。他の言語は自動翻訳ですかね。

並木　わかりました。お願いします。

永井　後、英語版だとしても文章の長さが伸びて、ここ、レイアウト変えられませんか。

由佳　少し幅とりましょうか。

並木　一昨日アップした動画ですが……。

広瀬入ってくる。

広瀬　ただいま。

竹村　おかえり。

3人　おかえりなさい。

3人は打合せを続けている。

並木　……尺もう少し詰めましょう。で、次が肝心な出典作品を紹介するヤツですね。制作過程撮れますか？

由佳　大丈夫なはずですよ。

打合せから離れた竹村は広瀬と話す。

広瀬　何の話してんの？

竹村　動画に字幕つけたり、サイトを翻訳したり。

広瀬　そんなもんなのか。

竹村　字幕は必須なんだとき。ふると世羅は？

広瀬　そろそろ戻ってくる頃じゃない？今日はデザインの専門学校とか美術系の学校回ってもらってる。

竹村　学校？

広瀬　投票して貰える確率が高いだろ。興味がある人達の方が。

竹村　でも、美紀ちゃんの絵を推してくれるかはわかんないじゃん。

広瀬　大丈夫。

竹村　どうして？

広瀬　あれだけの絵なら。

竹村

投票者数が増えれば増えるほど自然と有利になるってことか。

広瀬

多分な。埋もれてるべき人じゃないんだよ。永井さんの言う通りだ。

竹村

……ヒロさ、ぶっちゃけ複雑じゃね？

広瀬

複雑？

竹村

元カノだろ。

広瀬

仕事だからな。

竹村

ウソつけ。

古郡、水谷入ってくる。

古郡・水谷

戻りました。

一同

おかえり。(おかえりなさい)。

広瀬

今日は無事？

古郡

はい。滞りなく。

竹村

世羅も？

水谷荷物を置いて黙ってる。

竹村

どうした？

水谷

あの、私、劇団に入ったのも最近ですし、生意気なこと言うみたいでアレなんですけど。でも美紀さん、耳が聞こえなくて、ずっと描きたい絵が描けなかったんですよ……。

水谷、黙ってしまおう。

竹村

なんだよ。

水谷

(手話+発話で) こんにちは。

並木

世羅。

水谷

私たちも、ちゃんと小さな一歩を踏み出さなきゃって思うんです。でも、私知ってる手話ってこれくらいしかなくて、えっと……、本当に上手く言えないんですけど、私、

並木

(手話+発話で) ありがとう。

水谷

みゃーさん。

並木

わかってる。給水塔も大事だけど、それだけじゃないよね。

水谷

はい！

並木

「おめでとう」とか「素敵な絵ですね」位は調べて練習しよっか。

古郡

僕も覚えます！

私も。

水谷さん、ありがとうございます。

（広瀬に）一本取られたな。

うん。世羅、ありがとう。

そんな。

LINE着信音。由佳、携帯を取り出す。メッセージがあったようだ。

ごめんなさい。

さっそく経費で手話の本、買いますね。

はいよ。

あ、作品描けたって！完成です。

一同、喜ぶ。

お疲れ様でした。

私、一旦戻りますね。

映像素材、お願いしますね。

お任せ下さい。作品だけじゃなくて、エピソードでも興味を引く。

その通りです。

由佳さん、ちょっと待って。

はい？

作品見られませんか？

あ、そっか。写真届いてるので。グループの方に送ります。

由佳、携帯を操作する。

ここからが本番ですね。

そうだな。

メッセージ着信音。並木がノートパソコンで画像を開く。画面をのぞき込む一同。

綺麗。

流れ星、向こう岸に横浜の街。

夜なのに、なんだかあったかい。

え？これは！

広瀬

並木

竹村

並木

広瀬

並木

由佳

永井

由佳

永井

並木

由佳

並木

由佳

並木

由佳

広瀬

並木

由佳

水谷

広瀬

竹村

由佳

小池

永井 素晴らしい……。いや、そんな言葉じゃ足りません。彼女にしか表現できない柔らかさがちゃんとありながら、この色は一転強い、だからこそ臨場感があるのにも関わらずどこか全く違う風景を想起すらさせる。

並木 さ、さすがです……。

永井 あ、失礼しました。

竹村 永井さんのお眼鏡にかなう作品ってことですよね。

永井 もちろんです。

並木 目指すは？

竹村 最優秀賞。

広瀬、固まっている。

由佳 これ、盗作疑惑の絵なんです。

竹村 え？

由佳 もちろん新作ですよ。でも、あの時、えん罪に、画壇に負けてしまった自分を乗り越えるためにも、同じモチーフ、同じ構図で描くんだった。

永井 だからこそこんなに芯が通った水彩画になるのかもしれないね。

竹村 美紀ちゃんは、すごいな。

並木 語彙力。

竹村 うるさい。

由佳 あ、じゃ、すみません。また後で。

由佳、ハケる。

永井 みなさん、あと少し、頑張りましょう。

並木・竹村 はい。

広瀬 ……。

並木 ヒロさん？

暗転。

デザインコンペ結果発表会当日。ひろたけ便利店。広瀬、竹村、並木、美紀、由佳、古郡、小池、水谷、佐伯がいる。結果発表会はここではない、どこかのホテルか何かで行われているが、映像が配信されており、めいめいコンピュータの画面、スマホ、タブレットを見入っている。会場から中継するアナウンサーの声が聞こえる。

2023/06/12

アナウンサー ライブ配信で全世界にお届けしています。ピックアドプレゼンツ、アート・オブ・ネクスト・ジェネレーション。続いては文部科学大臣賞を受賞した、池田ヒロトさんの作品を改めてご覧頂きましょう。

明転。

佐伯 全然呼ばれないじゃないですか。

竹村 最優秀賞は最後ですから。

佐伯 もったいぶっちゃって。

古郡 大家さん、いいんですか。

佐伯 何が？

古郡 いえ、お仕事とか、大丈夫かなあって。はい。

竹村 ふる。

佐伯 あら。お邪魔でした？

古郡 いえ、とんでもない。

竹村 心強いです。

小池 ねね、城島さんや永井さんは結果知ってるのかな。

古郡 わからないけど、永井さんは知らないんじゃないかな。一応外部の人だし。

小池 そっか。タケさん、城島さんからラインとか来てない？

竹村 アホか。

小池 だってー。

並木 でもまあ、さ。

竹村 ん？

並木 やりきったから。私たちも、美紀さんも。

並木、美紀に手話で話しかける。美紀、うなづく。

水谷 美紀さんも手応え感じてくれます。

古郡 本人が一番落ち着いてる。

美紀、ほほえんで会釈する。

由佳　納得いく作品が描けたって言っていましたから。

小池　じゃあ、絶対大丈夫。

並木　そうだね。

由佳　本当に、みなさんのおかげです。

竹村　後は、信じよう。

並木　はい。

水谷　ですね。

広瀬、少し離れたところにいる。

竹村　ヒロ？

広瀬　……。

佐伯　なんとか賞みたいなの、後いくつあるの？

並木　後は優秀賞と最優秀賞の2つだけです。

佐伯　ああ、もう。じれったい。

小池　大家さんも投票してくれました？

佐伯　当たり前でしょう。

小池　え？

佐伯　何よ、えっ？って。失礼ね。

小池　あ、すみません。

並木　あ、次、始まりますよ。

小池　呼ばれた方が良いのか呼ばれない方が良いのか。

アナウンサー　続いては優秀賞の発表です。

水谷　複雑ですね……。

ジングル。

アナウンサー　優秀賞、最初の作品は……神奈川県、早田美紀さんの作品、「横浜の灯り」です。

一同、喜んで良いのか悔しがって良いのか僅かに迷うが、佐伯が間髪入れずに祝福する。

佐伯　おめでとう！

皆、口々に喜ぶ。古郡が「最優秀賞おめでとう！」と書かれた紙を取り出す。竹村が「最」の字を慌てて一文字隠す。美紀、立ち上がり深々とお辞儀。涙を拭く仕草。

由佳

ありがとうございます。本当に、ありがとうございます。

佐伯

3千点の作品から選ばれて、こんな素晴らしい賞を取ったんですから。

竹村

美紀ちゃん、(手話で) おめでとう。

一同

(手話で) おめでとう。

画面をのぞき込む一同。

小池

何度見ても綺麗。

古郡

「横浜の灯り」かぁ。

水谷

素敵な、絵ですね。

小池

あ、でもこれが……。

広瀬、美紀の前に来て。

広瀬

おめでとう。

美紀、微笑んでお辞儀をする。水谷、ヒロの様子がおかしいことに気づく。

水谷

ヒロさん？

広瀬

僕、だったのか。

美紀、広瀬と向き合う。

広瀬

僕が、君の作品を、君の人生を。

美紀、ほほえんで。

由佳

どういう、ことですか？

広瀬

これは、僕が学生の頃に描いたものと同じ構図だ。出展して、落選した、あの作品と。

竹村

じゃあ、盗作の相手って。

小池

ヒロさんだったの？

広瀬

すまない。すまなかった。

美紀、ほほえんで首を振る。広瀬、耐えきれなくヨロヨロと部屋を出ようとする。支えに行く竹村。

竹村

ヒロ！

並木

ヒロさん。

早田、追いかけて口パクで何か言っている。広瀬、立ち止まり振り向く。

早田

……。

竹村

美紀ちゃん？

早田

あ……う。

一度目は何を言っているのか聞き取れない。声を振り絞る美紀。

早田

あの景色が、私の、一番の、宝物だから。

声が出ていることに驚く一同。

広瀬

美紀。

最後に一言絞り出す。

早田

ありがとう。

泣き崩れる広瀬、皆に囲まれて暗転。

数ヶ月後、ひろたけ便利店。夜。いつものように劇団プレゼントが芝居の稽古をしている。広瀬は奥で見ている。

並木　じゃ、次のシーン行きまーす。

小池　はーい。

古郡　はーい。

水谷　わかりました。

竹村　へんな脚本。

並木　タケさん、新作ですよ、気合い入れて。

竹村　ほーい。

並木、手を叩くと芝居が始まる。音楽。竹村、古郡、水谷がいる。小池は袖へ。

古郡　これでこの世界も終わりだな。俺たちの思うがまま。

竹村　うそだ！アイツが裏切るなんて、そんなことはあり得ない！

水谷　バカね。人は環境に作られるのよ。

竹村　どういうことだ？

水谷　坊や、覚えておきなさい。あなたの知ってる一番優しそうな人も、戦争に行ったら人を殺すのよ。

古郡　はっはっはっは。(悪者っぽく笑う)

小池　ゆっくりと入ってくる。

小池　話は聞かせてもらいましたよ。

水谷　貴様は！

小池　お初にお目にかかります。私、近所の子供達に時空探偵と呼ばせている者です。  
竹村　かなりヤバイヤツが助けに来た。

小池　あなたたちの悪行は、あますことなく、お見通しです。この、(時空探偵〇〇が)

水谷・古郡が小池と対峙するところに佐伯が入ってきて芝居が止まる。

佐伯　お邪魔しますよ。

音楽止まり、照明戻る。

広瀬　あ、ども。

佐伯　どもじゃないですよ、まったく。何時までやってるの。  
竹村　すみません。来月の海の日連休が本番で、  
古郡　あ……ご迷惑ですよ。  
佐伯　迷惑？はい、これ。

佐伯、不思議そうな顔をして紙袋を竹村に渡す。のぞき込む劇団員。

わ！

まさか。

差し入れ！？

暗くなるまでお仕事してからお稽古でしょう？ちゃんと食べてるの？

まあ、それなりに……。

根詰めすぎて体壊さないようにね。

ありがとうございます。

一同

佐伯ハケるが、袖から声が聞こえる。

佐伯　（袖から）あら？何してるのよ？え？ひろたけさんお客さん来てるわよー。（城島と永井を追い立てて）ほらほら。

こんばんは。

失礼するよ。

城島

ああ、永井さん、城島さん。

竹村

こんばんは。（お久しぶりです。）

一同

やっぱりすごい方ですね……。

永井

でしょ？ああ見えて意外と優しい人なんですよ。

竹村

今日はどうされました？

広瀬

ああ、電話でも良かったんだけどね。早田美紀さん、ウチがプロデュースする新しい

城島

ブランドのメインデザインをやってもらったことになったんだ。

広瀬

え？そうなんですか。

一同喜ぶ。

城島

芸術家を応援する会社の威信にかけて、ビジネスとしても成功させてみせるよ。

小池

よろしくおねがいします。って私が言うのへんか。

並木

うん。へん。（笑）

城島

それと、もう一つ大事な話が。永井君。

永井

実は、古い友人から連絡があったんです。俺は教え子を守ることができなかった、永

広瀬

井が、いえ、ひろたけさんが早田さんを救ってくれたって。

どういう、意味です？

永井

彼は早田美紀さんの通っていた学校で美術の教員をしていました。

広瀬

ああ……。〔間〕永井さん、僕にはお礼を言われる資格があるんでしょうか。

永井

広瀬さん……。

広瀬

才能が無いくせに絵の道を志さなければ、高松先生のやり方をわかっていけば……。自分は誰も傷つけていないと信じて、無邪気に中途半端な絵を描いてたんです。僕は。

沈黙。間。

並木

もちろんありますよ。あるに決まっています！

水谷

ヒロさんは一番の絵を美紀さんにプレゼントしたんでしょう？

古郡

城島さんの画評にもあったじゃないですか。

城島

彼女の作品には挫折を味わった者だからこそできる表現がある。

古郡

はい。

並木、広瀬の肩を叩く。

竹村

お困りごと、お悩みごとなんでも引き受けます。

小池

ひろたけ便利店です。

竹村

ヒロ、胸張れ。

広瀬

……。

竹村

お前が変えたんだろ。

古郡

そうですね。

水谷

小さな一歩かですけど。

小池

私たちが目指す。

並木

優しい世界へ、ね。

【終】